



自分を高める夏休みに

4月から新しい気持ちですごした1学期が終わろうとしています。1年生は、すっかり中学校生活に慣れ元気いっぱい生活です。2年生は、自ら進んで活動に取り組み、生き生きとした笑顔が見られます。3年生は、進路を考える時期となり、学習に身が入り真剣な目が増えました。

さて、7月21日から8月31日まで42日間の夏休みとなります。健康と安全には十分留意しながら、自分を高める夏休みにしてほしいと思います。

「学ぶ門に書来る（まなぶかどにふみきたる）」ということわざがあります。「学問の好きな人のところには、自然に書物が集まる」という文意から、何事も志があれば、自ずから道が開けるということです。皆さんの普段の生活をふり返ってみましょう。皆さんの友だちのなかに、このことわざに相応しい生き方をしている人がきっといるはずです。目標を持って一つのことを打ち込んでいる人を思い浮かべてください。きっとその人の周りには、よい仲間が集まり、その人を応援する雰囲気が出てきていると思います。現在、社会で活躍している人の多くは、周りの人に支えられたり支えたりしながら現状をよりよくしようとしているはずですよ。

この長い夏休みは、基本的に自分で計画を立てて生活し、自分を高められる機会がたくさんあります。家庭での手伝い、家族や親戚との団らん、習い事や自由研究など夏休みに集中し体験できるチャンスがあります。たくさんチャレンジしてみましょう。頭も体も鍛えて一段と大きく成長してほしいと願っています。



「来たときより美しく」の心得

サッカー W 杯ロシア大会で、日本から駆けつけたサポーターたちの「ゴミ拾い」が海外メディアを驚かせました。また、試合後の選手のロッカールームが試合前よりも、きれいに掃除して会場を後にしていることも注目されていました。ある選手は、「使う前よりもきれいにして次に渡す習慣が身につけている」とインタビューに答えていました。

英国のメディアは、「日本では幼いころから各種スポーツ大会の後、観客がごく自然に後片付けをする」。なぜなら「日本では幼いころから家と学校で掃除や整頓のしつけをしている」と日本の国民性と文化論が語られていました。

日本の歴史をさかのぼること江戸時代。「江戸」とは、東京の旧称であり、徳川家康が江戸に幕府を開いてから400年余り、日本の政治の中心地として発展しました。18世紀初頭には、江戸は推定100万人を擁する世界でも有数の都市となり、18世紀後半には、独自の文化も花開いて江戸は名実ともに天下の首府となりました。この時、日本が世界を驚かせたことがありました。それは、街路のゴミの少なさだそうです。スペインの総督や英国の外交官が清潔で手入れの行き届いた街路に感嘆しました。とはいえ江戸庶民が格別きれいに好きだったというわけでもなさそうです。将軍や外交使節が通る町々には「街路を掃け」「水を打て」とお触れが出たといわれます（伊藤好一著『江戸の夢の島』）。町の美化は細かな「しつけ」のたまものだったようでした。<朝日新聞7月4日 天声人語より引用>

あらためて田柄中学校の校舎を見わたしてみると、いつでも廊下や階段がいつもピカピカです。これは、用務主事さんにきれいに磨いていただいていることもありますが、生徒がゴミ一つ落とさないことが普通であり、もし落ちていてもすぐに拾います。教室では、机・いすがきちんと整列されていて、乱れることはありません。トイレも掃除が行き届いていて、気持ちよく使うことができます。毎日、掃除や給食当番を各班で分担して責任を持って活動しています。



田柄中学校では、ゴミを残さず、気持ちよさを明日へ残します。普段はあまり感じることはない「何も残さず何かを残す日本の文化」。地道な活動が、田柄中学校の落ち着いた学習環境を作っていることができました。

「おかげさま・ありがとう」の心得

「いいことはおかげさま、わるいことは身から出たさび」は、相田みつを氏の言葉です。ここまで謙虚になるのはたいへんですが、一步でも近づきたいものです。

江戸時代に日本を訪れた外国人の多くが、日本人の礼儀正しさ、誠実で親切であること、誰もが学ぶ意欲を持って教養があることなどを本国への手紙や書物にして、驚き、敬意を表していたと聞きます。もちろん多くの日本人は、今もそうであると思います。そうでない人が増えてきていると感じることもまた事実だと思います。

毎日のあわただしい生活のなかで、心が疲れ、悩みや苦しみが積み重なって、時には怠け心が頭をもたげたり、悪い考えが浮かんだりしそうになります。それらが取り返しのつかないくらいに積み重ならないように、心の塵やほこりを払って、いいことがあったら、それは周りの人のおかげ、悪いことがあったとしたらそれは自分に大部分の原因があったからというくらいに、相田みつを氏のように考えて、気持ちを切り替えて行きたいものです。

部活動・生徒活動の記録

(敬称略)

硬式 テニス部	東京都中学校総合体育大会第3ブロックテニス選手権大会 女子団体の部 優勝 (東京都大会へ進出) 東京都中学校総合体育大会第3ブロックテニス選手権大会 男子団体の部 第2位 (東京都大会へ進出)	
ソフト テニス部	第56回練馬区中学校生徒総合体育大会 女子団体の部 準優勝	
卓球部	第56回練馬区中学校生徒総合体育大会 男子団体 第2位 女子団体 第2位 女子シングルス 第3位 澁谷 明佑香 第5位 丹羽 杏優菜 第9位 小嶋 萌夏 卓球男子シングルス 第1位 大山 誉暁 第3位 野崎 賢鳳	 
剣道部	第56回練馬区中学校生徒総合体育大会 女子団体の部 準優勝 個人の部 第2位 伊勢 夏葵 東京都中学校体育連盟剣道部第3ブロック大会 男子団体の部、女子団体の部 (東京都中学校剣道大会へ出場権を獲得) 女子個人の部 伊勢 夏葵・米村 紗英 (東京都中学校剣道大会へ出場権を獲得)	
サッカー 部	第56回練馬区中学校生徒総合体育大会で第8位 (第3ブロック大会へ進出)	
水泳部	第57回東京都中学校総合体育大会 竹葉 智子 女子200m個人メドレー 第1位 記録 2分18秒89 女子400m個人メドレー 第2位 記録 4分22秒32	 
吹奏楽部	第10回 高輪フェスティバル ゴールド金賞	